

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2000-353321(P2000-353321A)

【公開日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願2000-100579(P2000-100579)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/007 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/007

G 1 1 B 7/24 5 6 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月11日(2006.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報データを担う情報ピットが形成されるべきグループ情報トラックと、ランドプリピットトラックを含む光学式記録媒体であって、

ランドプリピットトラックには複数のランドプリピットが予め形成されており、

グループ情報トラックとランドプリピットトラックとが交互に形成されており、

前記ランドプリピットは前記グループ情報トラックに結合しており、

前記グループ情報トラックのトラック幅は、前記ランドプリピットの存在区間の各々の少なくとも一部の区間において、前記ランドプリピットの非存在区間でのトラック幅よりも狭いことを特徴とする光学式記録媒体。

【請求項2】 前記ランドプリピットは、両側に隣接する2つの前記グループ情報トラックの内のいずれか一方に結合されており、他方の前記グループ情報トラックとは離間して形成されていることを特徴とする請求項1記載の光学式記録媒体。

【請求項3】 情報データを担う情報ピットが形成されるべきグループ情報トラックと、前記グループ情報トラックに結合したランドプリピットトラックと、を含み、前記ランドプリピットトラックには複数のランドプリピットが予め形成された光学式記録媒体の製造方法であって、

マスクシート上にてカッティング光ビームのスポットを、前記グループ情報トラックが伸長すべき方向に垂直な方向に偏倚させる工程と、

偏倚された後に前記スポットを復帰させる工程とを備え、前記ランドプリピットの存在区間の各々の少なくとも一部の区間において、前記ランドプリピットの非存在区間でのトラック幅よりも狭いトラック幅の前記グループ情報トラックを形成することを特徴とする方法。

【請求項4】 前記カッティング光ビームを偏倚させる工程及び復帰させる工程の少なくとも一方において前記カッティング光ビームのレーザーパワーを所定期間において上昇させることを特徴とする請求項3記載の方法。